

網走養護学校だより



平成27年度
第 6 号
(通巻178号)
11月20日発行
TEL 0152-48-2137

～みんなの頑張りが輝いた学校祭～



『みんながいたからできた劇だったね』

小学部の発表は広大な海を舞台にした劇でした。人形のお姫様が旅での出会いや経験を通して、大切なものが何かということに気付く物語です。人魚、クリオネ、カモメ、シャチ、海の妖精というキャラクターをそれぞれ演じ、日頃の学習や練習の成果を元気にかわいらしく発表できました。

各場面ではテーマ曲があり、「崖の上のポニョ」、「アンダー・ザ・シー」、「妖怪体操第一」、「ひょっこりひょうたん島」、「パイレーツ・オブ・カリビアン」、そしてエンディングの「こどもがいっぱいわらってる」とミュージカルさながらの内容でしたが、児童はしっかりと場面での活動を理解しながら、歌やダンス、器楽演奏をすることができました。(文責：野上)



『アラジンと魔法のランプ』

今年の中学部は、ミュージカル仕立ての劇「アラジンと魔法のランプ」を発表しました。「自分を変えたい」と願う青年、「アラジン」が大きな壁を乗り越え、成長を続けながら繰り広げる冒険の物語。最後には、頼もしいランプの魔神の力を借り、大変身を遂げます。笑いあり、涙ありの感動のストーリー。舞台の上では、日頃の学習成果や当日まで一生懸命練習した成果を一人一人が発揮でき、みごと感動のフィナーレを迎えることができました。文末ですが、最後までご観覧して下さった皆さん、たくさんのあたたかい拍手をありがとうございました。(文責：鹿角)



『未来に向かって「夢」を!』

今年度から高等部は前日祭でステージ発表、当日は販売というかたちをとることにしました。前日祭のステージ発表では「オホーツク Dream～未来に向かって～」と題し、夢を器楽演奏や作文・身体表現で表現した後、最後は「夢の世界を」の合唱で締めくくりました。演目終了後、高等部ホールに集合した生徒達の表情は達成感と充実感にあふれた笑顔でした。

当日は、高等部の訪問生も一緒にホールにて販売会を実施しました。体育館での生CMと、前日祭の名演技の効果なのか、予想以上の来客に恵まれ完売商品も続出でした。生徒達は、自分の役割を意識して正確にそして確実にこなす姿がどの作業班・訪問学級でも見られました。この素晴らしい大成功を導いてくれた高等部全生徒に「ありがとう」と伝えたいです。（文責：我妻）



『心をひとつにしたフィナーレ』

学校祭最後の演目は児童生徒会主催のフィナーレです。最初は、2年連続実施したじゃんけん列車から始まりました。昨年のリベンジと燃えた生徒もいれば、卒業生や指導者と列車となつてつながることを楽しんだ人もいました。最後まで勝ち残った人には、メダルのプレゼントもありました。

その後、学校祭への取り組みの様子のVTRを見たあとに、楽しいダンスの時間でした。児生会役員はポケモンのお面やワッペンを身につけて、練習期間中に毎回頑張って練習したダンスをステージ上でかっこ良く踊っていました。そのダンスにつられるように会場全員で踊ったときにも全員笑顔で踊っていました。短い時間でしたが、心をひとつにできたフィナーレでした。（文責：我妻）



（編集後期）

10月23日の前日祭、24日の学校祭の児童生徒の成長した様子をお伝えしました。また、訪問学級は美療交響楽団を結成し、ビデオで皆様に見ていただくことができました。すべての児童生徒が、それぞれの力を発揮した素晴らしい前日祭・学校祭となりました。ご協力いただいた保護者の皆様ありがとうございました。（文責：明神）